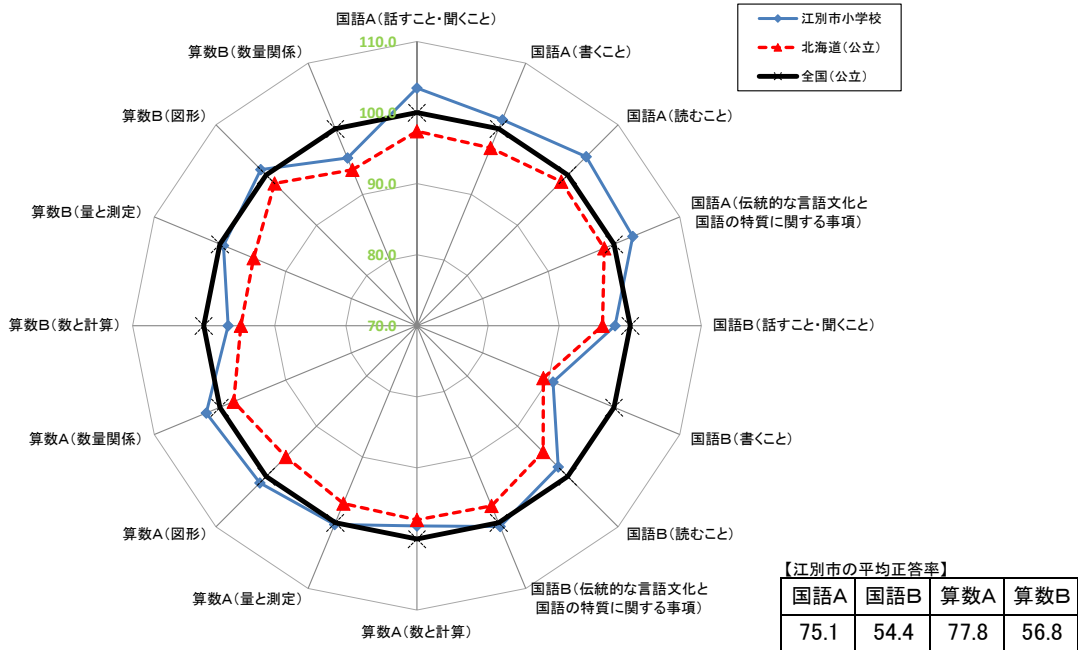


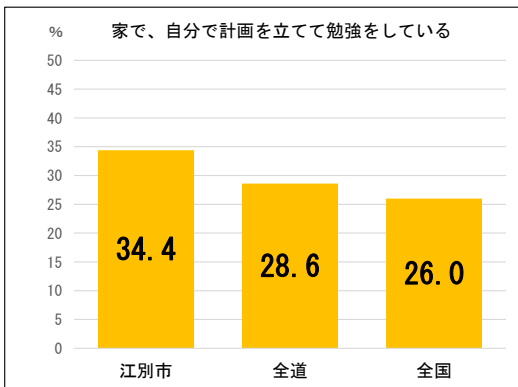
■ 江別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:19校、児童数:1,042名)

【教科全体の状況】

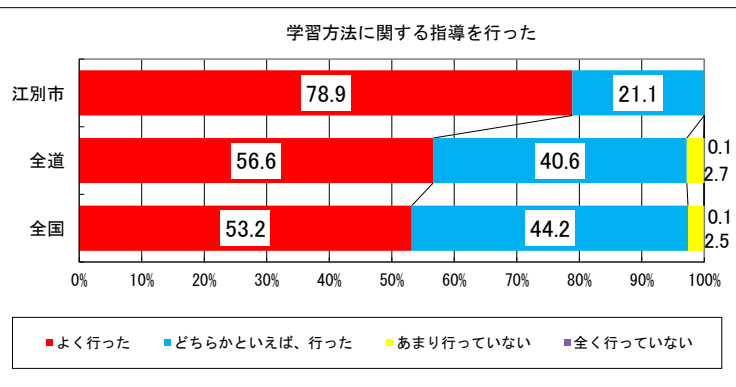
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、全ての領域で全国を上回り、国語Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは「数と計算」を除く領域で全国を上回り、算数Bでは「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、学習方法に関する指導を行ったことにより、家庭学習について計画的に取り組む児童が多くなり、基礎的・基本的な学習内容の定着につながっていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で、計画を立てて勉強をしている児童の割合が全国より高い。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導を行った学校の割合が全国より高い。 	

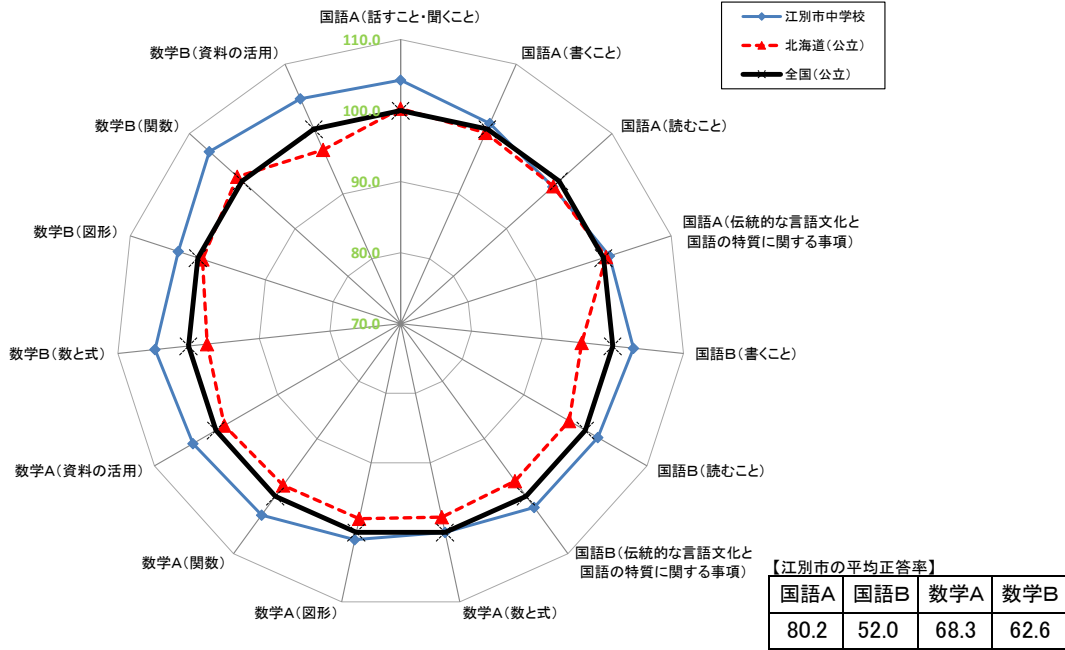
【江別市の学力向上策】

- ◎ 退職教員を活用したTTや長期休業中・放課後の補充的な学習サポートなど、学習支援の充実
- ◎ 全学校・全学級への電子黒板の配置など、学校のICT環境の充実
- ◎ 教職員セミナー(夏期・冬期)や小学校外国語活動研修会、体力向上実践事業研修会など、研修事業の実施
- ◎ 学校改善プランについてのヒアリング及び指導助言

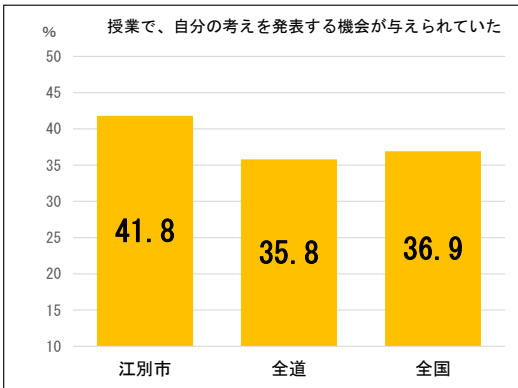
■ 江別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、生徒数:1,079名)

【教科全体の状況】

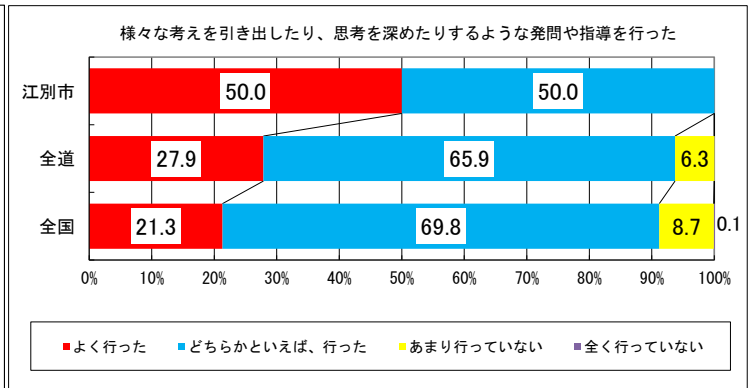
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「読むこと」を除く領域で、国語Bでは全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学ではA、Bともに全ての領域で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導を行ったことにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着はもとより、それらを活用するために必要な思考力・判断力・表現力等が育まれたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業中に、自分の考えを発表する機会が与えられていると回答した生徒の割合が全国より高い。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った学校の割合が全国より高い。 	

【江別市の学力向上策】

- ◎ 退職教員を活用したTTや長期休業中・放課後の補足的な学習サポートなど、学習支援の充実
- ◎ 全学校・全学級への電子黒板の配置など、学校のICT環境の充実
- ◎ 教職員セミナー(夏期・冬期)や小学校外国語活動研修会、体力向上実践事業研修会など、研修事業の実施
- ◎ 学校改善プランについてのヒアリング及び指導助言